

# IX 家畜衛生



# IX 家畜衛生

## 1. 概要

家畜衛生の向上を図り、県民に安全で安心な畜産物を供給するため、農林水産部畜産課を中心として、本島中南部を所管する中央家畜保健衛生所、本島北部を所管する北部家畜保健衛生所、宮古地域を所管する宮古家畜保健衛生所、八重山地域を所管する八重山家畜保健衛生所の4つの家畜保健衛生所と、病性鑑定施設である家畜衛生試験場が連携して家畜伝染病の予防および衛生・飼養管理技術等の指導を行っている。

近年、国内では特定家畜伝染病である豚熱や高病原性鳥インフルエンザが継続的に発生しており、県内でも令和2年には豚熱、令和4年には高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された。さらに、国外ではアジア地域でのアフリカ豚熱の感染が拡大するなど、県内への病原体の侵入リスクは高い状態にある。

これら伝染病の発生は畜産業のみならず地域社会に大きな影響を及ぼすことから、各家畜保健衛生所では、農場における飼養衛生管理基準遵守の指導やワクチン接種等による発生予防に取り組むとともに、サーベイランスやモニタリング検査を実施し、疾病の発生・浸潤状況の監視を行っている。また、伝染病発生時には迅速に対応できるよう危機管理体制の整備を推進するとともに、各地域で防疫演習や講習会等を実施し、防疫体制の確認と強化に努めている。

家畜伝染病であるバベシア症については、オウシマダニの媒介により八重山地域などでは畜産振興に多大な被害を及ぼしたが、沖縄牧野ダニ清浄維持対策事業により対策を進め、平成11年にオウシマダニの撲滅が宣言された。その後、平成19年及び平成20年に当該ダニが媒介するアナプラズマ症が摘発されたが、当該ダニの生息は現在まで県内で確認されておらず、オウシマダニの清浄性を維持するため、南九州地域からの県外導入牛並びに八重山地域の放牧牛の監視体制を強化するとともに、専門機関と連携して県内への侵入防止対策に取り組んでいる。

## 2. 家畜防疫状況（令和6年）

### (1) 検査実施状況

事 業 名	家畜の種類	検査頭数		検査の結果		実施時期	摘要
		実頭数	延頭数	患畜	疑似患畜		
B S	牛	108	108	0	0	108	1月～12月 ELISA法
結核	牛	0	0	0	0	0	1月～12月 ツベルクリン皮内反応
ブルセラ症	牛	15	15	0	0	15	急速凝集反応
*牛流行熱等追跡調査 ( 抗体 )	牛	86	332	39	0	293	1月～12月 中和試験
*牛伝染性リンパ腫	牛	1,540	1,550	658	0	571	1月～12月 抗体検査
*ヨーネ病	牛	1,940	1,940	43	2	1,766	1月～12月 ELISA法
*豚熱	豚	2,895	2,895	1,087	47	1,549	1月～12月 中和試験、ELISA法 R1.3～豚熱ワクチン接種開始
*才エスキーキー病	豚	819	819	0	0	228	1月～12月 ラテックス凝集反応、中和試験
*ニューカッスル病	鶏	228	228	0	0	228	1月～12月 HI検査
家さんサルモネラ症	鶏	360	360	0	0	360	1月～12月 種鶏 急速凝集反応
高病原性鳥インフルエンザ	鶏	2,380	2,380	0	0	1,070	1月～12月 血清抗体検査、ウイルス分離
腐敗	蛆 病	2,894	2,894	0	0	2,679	1月～12月 細菌検査

\*は抗体検査成績（患畜：陽性、疑似患畜：疑陽性）

事 業 名	家畜の種類	検査頭數		検査の結果				実施時期	摘要
		実頭數	延頭數	疾病名	患畜	疑以患畜	健康		
牛伝染性疾病検査	牛	78,879	261,142	B	S E				
				口 蹄 疫					
				子牛下痢症	0	0	261,142	1月～12月	
				皮膚真菌症					
豚伝染性疾病検査	豚	117,823	522,404	ビンクアイ					
				豚 热					
				口 蹄 疫					
				下痢症	0	0	522,404	1月～12月	
鶏伝染性疾病検査	鶏	6,832,325	10,216,310	大腸菌症					
				異常産					
				肺炎					
				滲出性表皮炎					
臨床検査				高病原性鳥インフルエンザ					
				マレッカ病					
				伝染性コリーザ	0	0	10,216,310	1月～12月	
				コクシジウム症					
				ブドウ球菌症					
				I B D					

## (2) 注射実施事業

事業名	区分	種類	注射頭數			注射の反応			実施期間	摘要	
			第1回	第2回	第3回	計	死亡	流死産	重症		
牛流行熱・イバラキ病混合不活化ワクチン	予	牛	1,570	588	0	2,158	0	0	0	1月～12月	
牛異常産3種混合不活化ワクチン	予	牛	523	473	0	996	0	0	0	"	
アカバネ病	予	牛	269	0	0	269	0	0	0	"	生ワクチン
牛流行熱	予	牛	0	0	0	0	0	0	0	"	不活性化
豚熱	予	豚	237,289	34	237,323	0	0	0	0	"	生ワクチン
ニューカッスル病	予	鶏	103,306	0	0	350	0	0	0	"	不活性化

## (3) 薬浴(投薬)実施状況

事業名	区分	家畜の種類	実施頭數			薬浴(投薬)の反応			実施期間	摘要
			実頭数	延頭数	死亡	流死産	重症	軽症		
ダニ駆除	投	牛	277	227	0	0	0	0	"	フルメトリン製剤

### 3. 家畜伝染病発生状況

年	病名	アナプラズマ症	ピロプラズマ症	豚	熱	ヨーネ病	結核	流行性脳炎（豚）	ニューカッスル病	ひな白痢
H23					6					
H24					2			15		
H25					1					
H26									2	
H27					1					
H28										
H29										
H30					2					
H31(R1)					2					
R2				16						
R3					7					
R4										
R5										
R6					13					

#### 4. 牧野ダニ侵入防止対策事業

##### (1) ダニ侵入防止対策会議の開催

(令和6年度)

開催回数	参集範囲	参加延べ人数	備考
技術検討会 1回	国、県、家保、有識者等	22人	対面開催

##### (2) ダニ監視体制強化の整備

(令和6年度)

区分	対象地域	回数 または 頭数
草地ダニ検査	八重山地域 宮古地域	44回 6回
牛体ダニ検査	八重山地域 宮古地域	3,013頭 119頭
血液原虫検査	八重山地域 (バベシア及び ピロプラズマ清浄性 確認検査)	400頭
	県内全域 (県外導入牛検査)	128頭

## 5. オウシマダニ撲滅達成状況

令和7年3月現在

地 域 名	撲 滅 達 成 年 度
伊 是 名 島	昭和56年度
伊 平 屋 島	60
多 良 間 島	61
北 大 東 島	61
伊 良 部 島	61
黒 島	平成 2 年度
竹 富 島	3
鳩 間 島	3
小 浜 島	4
波 照 間 島	4
与 那 国 島	5
西 表 島	6
石 垣 島	8
内 離 島	8
外 離 島	8

(撲滅達成) : ダニ駆除又は牛処分終了後、最低1年以上オウシマダニが全く確認出来ない状態を撲滅達成とした。

## 6. 家畜伝染病に係る沖縄県対策本部設置要綱、要領等

伝染病名	要綱、要領等	策定年月日 (最終改正日)
特定家畜伝染病	沖縄県特定家畜伝染病危機管理対策会議設置要綱	平成24年5月16日 (令和5年5月10日)
	沖縄県特定家畜伝染病防疫対策本部設置要綱	令和2年1月7日 (令和7年10月16日)
高病原性鳥インフルエンザ(法)	沖縄県高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ防疫対応マニュアル	平成29年9月9日 (令和3年3月18日)
口蹄疫(法)	沖縄県口蹄疫防疫方針	平成22年6月16日 (平成26年6月30日)
	沖縄県口蹄疫侵入防止対策ガイドライン	平成22年7月1日 (平成26年6月30日)
	沖縄県口蹄疫防疫対策マニュアル	平成22年6月17日 (平成31年3月19日) H31.3名称変更
	家畜市場口蹄疫侵入防止対策方針	平成22年6月1日
アフリカ豚熱(法)	沖縄県アフリカ豚熱防疫対策マニュアル	令和6年12月19日
牛海綿状脳症(BSE)(法)	沖縄県牛海綿状脳症(BSE)対策本部設置要綱	平成13年10月17日 (平成26年6月30日)
ヨーネ病(法)	沖縄県牛ヨーネ病防疫対策実施要領	平成14年10月4日 (令和4年4月1日)
豚熱(法)	沖縄県豚コレラ防疫対策要領	平成13年2月13日
	沖縄県豚熱防疫対策マニュアル	令和4年6月20日
オーエスキ一病(届)	沖縄県オーエスキ一病防疫対策要領	平成3年8月30日 (令和7年7月1日)
	沖縄県オーエスキ一病防疫協議会会則	平成3年9月24日 (令和7年7月1日)
	県外導入豚等防疫対策指針	令和7年6月
出先機関	北部地域特定家畜伝染病防疫対策本部設置要綱	平成22年5月27日 (令和3年7月12日)
	中南部地域特定家畜伝染病防疫対策本部設置要綱	平成26年12月27日 (令和3年1月20日)
	宮古地域特定家畜伝染病対策本部設置要綱	平成22年6月1日 (平成30年6月4日)
	八重山地域特定家畜伝染病防疫対策本部設置要綱	平成19年3月12日 (令和2年12月24日)

注意:(法)家畜伝染病、(届)届出伝染病

## 7. 令和6年度沖縄県特定家畜伝染病防疫演習について

口蹄疫やアフリカ豚熱など特定家畜伝染病が発生した際の実効性ある迅速な初動防疫体制の整備およびまん延防止対策技術を訓練する目的で、関係各課および関係団体の協力を得て、4つの地域において机上演習及び関係機関団体参加型の実働演習を開催した。

### 【北部家畜保健衛生所】

#### ■ 北部地域特定家畜伝染病防疫実働演習（令和6年9月3日）

参加者：県、市町村、関係団体等 34名

テーマ：特定家畜伝染病発生時における消毒ポイントでの作業確認

#### ■ 野生いのししにおけるアフリカ豚熱防疫演習（令和6年12月17日）

参加者：県、市町村、国、関係団体等 50名

テーマ：野生いのししでアフリカ豚熱陽性となった場合の対応確認



### 【中央家畜保健衛生所】

#### ■ 特定家畜伝染病発生時の防疫対応演習（令和6年10月10日）

参加者：県、市町村、関係団体等 57名

テーマ：特定家畜伝染病発生時の初動防疫体制（資機材の搬出、防疫ステーション運営）

#### ■ 特定家畜伝染病発生時におけるガスボンベの取扱いにかかる防疫演習（令和7年1月29日）

参加者：県、防疫協定団体 20名

テーマ：ガスボンベの移動と搬出における安全な取扱い



## 【宮古家畜保健衛生所】

### ■ 特定家畜伝染病発生時における消毒ポイント演習（令和6年10月10日）

参加者：県、市村、警察、関係団体、生産者等 73名

テーマ：消毒ポイントの設置・運営と防護服の着脱訓練



## 【八重山家畜保健衛生所】

### ■ 口蹄疫防疫演習（令和7年2月6日）

参加者：県、町、生産者等 26名

テーマ：黒島における口蹄疫発生時の防疫対応の確認

